

クビアカスカシバ成虫の発生消長

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

1 部門名

果樹－ブドウ－病害虫防除

2 担当者

瀧田克典・穴澤拓未・星博綱・佐々木正剛

3 要旨

県内のブドウ産地で性フェロモントラップを用いてクビアカスカシバ成虫の発生消長を調査した結果、本県におけるクビアカスカシバ成虫の発生時期は6月上旬～8月中旬、発生回数は年1回であることが判明した。

(1)所内および福島市平石(露地)では、誘殺数が少なく、誘殺ピークは判然としなかったが、初発は概ね6月下旬で8月中旬まで発生が見られた(図1)。

(2)伊達市梁川町(露地)では、初発が6月上～中旬で8月上旬まで発生が見られた。誘殺ピークは7月上～下旬であると推定された(図2)。

(3)喜多方市熱塩加納町(ハウスおよび雨よけ)では、初発が6月下旬～7月上旬で8月上旬まで発生が見られた。誘殺ピークは7月中～下旬であると推定された(図3)。

(4)双葉郡大熊町(露地)では、初発が6月下旬で8月中旬まで発生が見られた。誘殺ピークは7月中～下旬であると推定された(図3)。

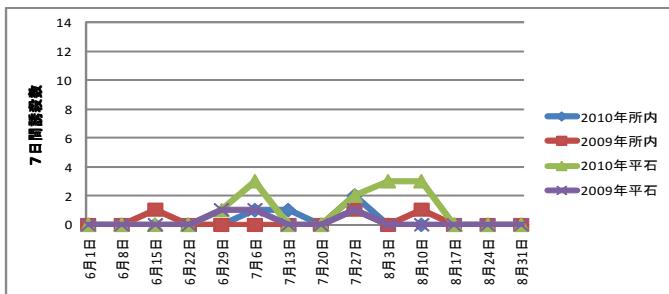


図1 所内および福島市平石の発生消長(2009年～2010年)

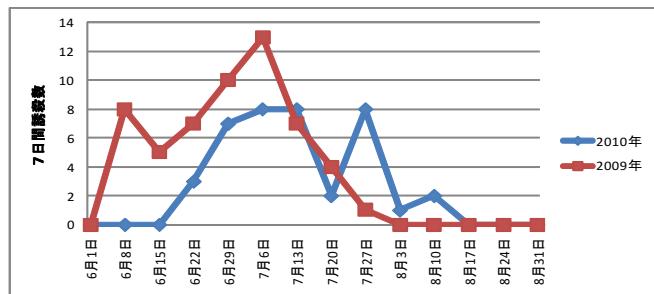


図2 伊達市梁川町の発生消長(2009年～2010年)

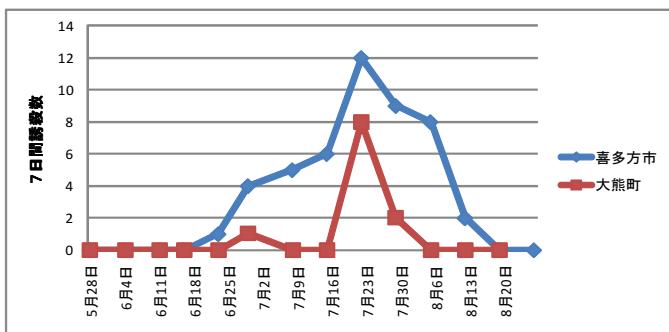


図3 喜多方市熱塩加納町および双葉郡大熊町の発生消長(2010年)



図4、5 クビアカスカシバ成虫および被害痕



4 主な参考文献・資料

(1) 平成19年～21年度 福島県農業総合センター試験成績概要(2007～2009)